９／２８　校長室より №292

昨日、あ～すで町戦没者追悼式が挙行され、中学生を代表して井上優愛さんが「平和へのメッセージ」を述べてきました。町長さんはじめ多くの方々からお褒めの言葉をいただきましたので、紹介します。

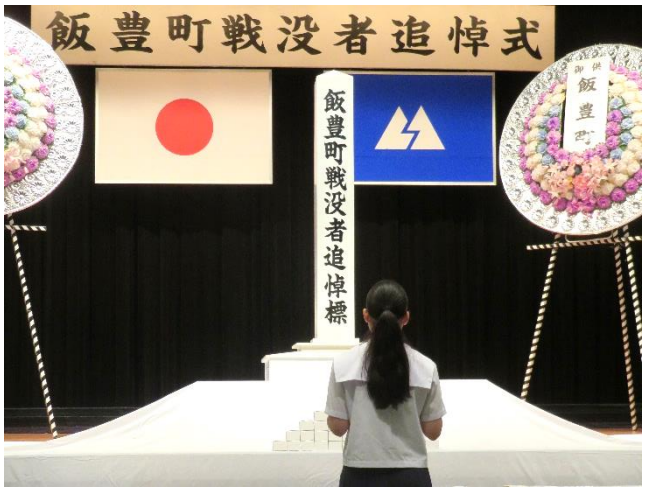
今、私たちはとても平和で幸せな生活を送ることができています。しかし、７８年前、戦争という私たちには想像もできないような恐ろしいことが起こっていたのです。

私は、太平洋戦争について教科書や本などで知りました。空襲や原爆によって焼け野原になった街を見た時は言葉が出ませんでした。自分が暮らしている場所が一瞬にして変わり果ててしまうなど想像もつきません。また、戦争によって自分の家族を失ってしまった悲しみ、被災した苦しみ、恐怖で眠れない夜が続くことを考えるだけでも恐ろしいです。それにも関わらず、たくさんの人々がこのような思いをしたと思うと心が痛みます。

しかし、そのような大きな悲しみや苦しみを先人が乗り越えたからこそ、今の平和な日本があるのだと思います。私は、今の生活がとても幸せであると感じています。これからもこの幸せな生活が続くことを願います。

一方、現在でもロシアによるウクライナ侵攻が毎日のように報道されています。想像の中でしか知らなかった空襲警報の音や徴兵によって離れ離れになる家族の姿、ミサイルによって爆破された街の映像を実際に見て、21世紀の世界でも本当に起こると思い知らされました。

戦争は、本当にたくさんの命を奪い、多くの悲しみを生み出しました。また、世界中でもこのような現状があります。それでも、現代の日本では戦争の恐怖が薄れてきています。その薄れゆくものを取り戻すために、今の私たちの力が必要です。二度と戦争を起こさないために、私たちが次の世代へ戦争を語りつないでいくことが大切です。これからの生活が、笑顔で希望あふれる平和な世の中であることを心から願うからです。

最後に、戦争によって尊い命を日本の国のために捧げられた方々へ心からのご冥福をお祈りし、追悼の言葉とさせていただきます。

飯豊町立飯豊中学校　３年　井上 優愛